

施策	6302 観光ネットワークの形成						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	余地有	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	観光施設の利用者						
施策が目指す姿	観光スタイルを一極集中型から多地域周遊型へ誘導するため、観光資源をつなぐ移動手段の確保、シティプロモーション等による観光情報提供体制の強化を図るとともに、広域観光ネットワークの形成を見据えた関連自治体との連携強化を図る。						
成果指標	観光客宿泊者数：5年間で16,000人（現状値13,096人）						
目標達成状況			平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	成果指標1 [人/年]	予定	13,600.00	14,200.00	14,800.00	15,400.00	16,000.00
		実績	16,857.00	17,281.00	20,645.00		
	成果指標2 [ ]	予定					
		実績					
	成果指標3 [ ]	単位コスト					
		予定					
	成果指標4 [ ]	実績					
		単位コスト					
	トータルコスト (千円)	予定	50,077	61,324	60,742	0	0
実績		50,039	60,512	60,742	0	0	
内部評価	貢献度	基本施策の目標指数「観光客入込数」を増加させるため、全市的な観光資源を繋ぐ観光ルートの創出及び効果的な情報発信が重要であるため貢献度は高い。					
	達成状況	新型コロナウイルスの影響により、事業の見直しや中止を余儀なくされた事業もあったが、事業は概ね適正に行われており、目標値も達成することができた。					
	課題	with コロナを念頭に置き、感染拡大防止措置を徹底した新しい様式の観光客誘致の事業展開が必要である。					
	取組方針	令和3年4月に開設した栃木市観光交流館や栃木市観光資源データベースを活用し、各地域の観光資源間のモデルルートを創出し、地域間のネットワークの形成を図る。					
外部評価							
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名称				トータルコスト(千円)	達成度
	711101	自転車を活用した広域連携事業費				3,200	100
	313203	観光振興宣伝事業費（藤岡）				2,969	95
	313206	観光振興宣伝事業費（岩舟）				2,475	95
	313205	観光振興宣伝事業費（西方）				3,000	90
	724401	国際観光まちづくり事業費				3,711	80
	313201	観光振興宣伝事業費				7,391	70
	785301	首都圏外国人観光客誘客促進委託費				4,667	70
	786701	観光資源魅力アップ委託費				3,772	70
	313204	観光振興宣伝事業費（都賀）				4,348	30
	314401	栃木県東京スカイツリーアンテナショップ事業費				3,739	1



## 単位施策評価表 補表

施策	6302 観光ネットワークの形成		
区分	妥当性	妥当	観光資源間の連携による取り組みに繋げるため必要な事業であり、実施は妥当である。
	コスト削減の余地	有	事業実施における効果を検証することでコストの再確認を行い、引き続き適正な執行に努める。
	受益者負担	適正	一部負担による事業実施のほか、パンフレットの種類によっては、広告掲載による料金収入などを研究する余地はある。
	上位貢献度	有効	「観光客入込数」向上のための貢献度は有効である。
	類似事業の有無	無	他に類する事業はなく、代替は困難である。
	成果向上の余地	有	広報媒体を工夫することにより、成果向上の余地はある。
内部評価	貢献度	基本施策の目標指数「観光客入込数」を増加させるため、全市的な観光資源を繋ぐ観光ルートの創出及び効果的な情報発信が重要であるため貢献度は高い。	
	達成状況	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の見直しや中止を余儀なくされた事業もあったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けにくい受入体制の整備や戦略的な情報発信などの各事業は概ね適正に行われており、目標値も達成することができた。	
	課題	withコロナを念頭におき、感染拡大防止措置を徹底した新しい様式の各観光資源のネットワーク形成を中心とした観光客誘致のための事業展開を行っていく必要がある。	
	取組方針	令和3年4月に開館した栃木市観光交流館「蔵なび」や栃木市観光資源データベースシステム「蔵なび！」を活用し、各地域の観光資源間の季節や食などのテーマに応じたモデルルートや観光プランを創生し、地域間のネットワークの形成を図る。	